事新報

驛遞局認可　（定價三錢）

明治十八年六月廿五日（西曆一千八百八十五年）
木曜日
第千四號
日曜日休刊

東京圖書館

納金等從來國債局ニ於テ取扱
海當省書記局庶務課ニ於テ管
ヘ宛差出來リ候未納證其他
出スヘシ
調定帳ハ從前ノ通リ國債局長

日　大藏卿伯爵山縣有朋

府　縣

規則左ノ通相定ム此旨相達

日　海軍卿伯爵川村純義

規則

ハ海軍部內ノ者及ヒ華士族滿三十年以下ニシテ其志願上採用ス　但海軍部內軍人ルヲ得ズ○第二條　左ニ記ズ　一　輕罪以上ノ刑ヲ受分ヲ受ケタル者　三　身代ヲ生ル者○第三條　採用ス日方法等ハ海軍主計本部ニ海軍部內ノ志願者ハ第一所轄長ヲ經テ海軍主計本部族平民ノ志願者ハ第二號ノヘ東京府廳ヲ經テ海軍主計志願者ノ身體檢査ハ海軍主醫官之ヲ行フ而シテ其合格ハス○第七條　學科試驗ハ本部生計官之ヲ監シ主任官ノ如シ

事文、公用文、通俗文）　數學
國語ニ通ズル者）　翻譯（和
注（楷行草）　筆記（官省筆記）
略ス）

計補ニ任ズル者トス
部ニ勤務セシメ海軍主計官
ス○第九條　御用掛ヲ命ズ
スル者ノ中優等ノ順次ヲ以

示中山道鐵道公債證書發行ヲ追加ス
事業額ニ超過スル時ハ最高發行シ發行額ニ滿ツルヲ以減却スヘシ

大藏卿　伯爵山縣有朋

郡區役所　戶長役場
衞生委員

東京府知事　渡邊洪基

一先ヲ不潔之場所充分掃除スルヲ以テ最モ急務トス既虎列拉患者發生候ニ付テハ精密調査ヲ遂ケ猶當廳土木清潔方行屆候樣取計ヘシ此
處理及其周圍ノ清潔法　一櫃
處理　一塵芥溜ノ掃除法　一
所ノ掃除法
分キ郡ハ市街ヲ爲シタル人
受持ノ衞生委員又ハ所屬員

○警視廳東京府諭達

追々暑氣ニ向ヒ既ニ淺草日本橋兩區內ニ於テ虎列拉病ニ相罹リ候者有之候ニ付テハ豫防ノ爲メ此際左記ノ件々一層注意スヘシ此旨諭達候事

明治十八年六月廿四日　警視總監　大迫貞淸
東京府知事　渡邊洪基

一飮用水ニ供スル井戶側ノ修理及其周圍ノ掃除　一下水ノ疏通及修理　一塵芥溜ノ掃除　一便所ノ掃除

賞勳敍任

○明治十八年六月五日
敍勳二等贈與旭日重光章　獨逸國皇帝陛下ノ總領事　勳三等　エ、ツァッペ

○明治十八年五月十六日
任屯田兵少佐　屯田兵大尉正七位勳五等　和田正苗

○明治十八年六月廿三日
任兵庫縣飾東郡長　兵庫縣武庫菟原郡長　從六位　渡邊徹

時事新報

英國ノ東方政略

英國ノ政事社會モ自由黨內閣ノ辭職ニ因リテ今ハ早ヤ保守黨ノ天下トナリヌ保守黨ノ勢力ハ微弱ニシテ下院ノ多數ヲ制スル能ハザルベシトノ噂頻リナレバ一旦內閣ヲ組織シタル後チニテ又急ニ失敗辭職ノ沙汰無キヲ期ス可ラズ殊ニ來ル十一月撰擧權擴張法ヲ實行シ中等以下ノ人民ニ政權ヲ分與シタル上ハ世ハ又自由黨ノ世ト爲ルベシト雖ドモ兎ニ角ニ今回皇命ヲ受ケテ施政ノ要路ニ當ラントト決心セシコトナレバ就職後ソノ第一着ノ變革トシテ先ヅ外交政略ヲ果斷ニシ前內閣ノ僚員ガ埃及ニ蘇丹ニ又阿富汗ニ毎度姑息ノ處置ヲ施シテ全國輿論ノ譏責ヲ蒙リタル覆轍ヲ踏マザルベキハ勿論、一層ノ活潑大ニ人ノ耳目ヲ驚カス所作アルナラントハ一般世人ノ待設ケ居ル所ナルガサテ其外交政略ヲ活潑ニスルト云フ一條ニ至リテダヾ全体ニ外國ノ交際ヲ果斷ナラシメ動モスレバ力ニ訴ヘテ是非ヲ決セントスルヤウ粗暴ノ所爲ニ出ル筈モアルマジク交親國ニ對シテハ從前ノ內閣通リ鄭重ニモ友誼ヲ盡シ約束ヲ重ンズルニ相違ナカラン例ヘバ近年英國ト亞米利加トノ國交際ノ如キモソノ修親和睦ノ點ハ英政府ノ自由タリ又保守タルニ拘ラズシテ常ニ同樣ナルコトナレバ今回ノ政變ニ取リテハマヅ左迄ノ影響ヲ感セザルナラント思ハル然ルニ之ニ反シ露國ノ如キハ既ニ自由內治主義ノ英政府ニ對シテスラ一時ハ流血慘酷ノ塵戰ヲ引起サントシタル程ニテ未ダ阿富汗事件ノ落着セザル今日突然ニモ英國ニ於テ外交果斷ノ內閣ヲ現出シ他日ノ模樣次第ニ依リテハ英露間或ハ一大血戰ヲ見ルヤモ知ル可ラズ孰レノ眼ヤクアルニ至リタルハ露國ニ取リテ實ニ不容易ノ政變ナリト申スベキナリ蓋シ英內閣今回ノ變更ニテソノ外交政略一般ニ活潑トナルベキ中ニモ四面八方ノ外國ニ對シテ皆同樣ニソノ外政ノ威ヲ示スト云フハ實際六ケ敷キ事柄ニテ必ズ一方ニソノ働キノ偏傾スル處アルナラン即チ其內閣ノ主義政略ニテ孰レノ方向ヘカ特種出色ノ運動ヲ顯ハシ外政ノ說鋒鋼リコノ一邊ニ向フコトナレバ直接ノ衝ニ當ルベキソノ外國ノ憂患ハ言フニ及バズコレニ付キ間接ノ影響ヲ蒙ルモノニ於テモ利害ノ關係決シテ淺少ニ非ザルベキナリ今回保守黨ガ內閣ヲ組織シタル上ニテ果斷ナル其外政ノ向フ所ハ果シテ何レノ邊ニ在ルベキ歟若シモソノ働キヲ單ニ歐陸ニノミ止マリテコノ東洋ニ波及セザルコトセバ甚ダ幸福ナリト雖ドモ我輩ハ東洋人等ガ未ダ幸福ヲ買テ安眠ヲ催フス能ハザランコトヲ恐ルヽナリ

英國政事家ノ言ニ十七八世紀ノ外交政略ハ佛朗西ヲ敵ニシ十九世紀ノ外交政略ハ露國ヲ敵ニストト云ヘリ成程其ノ言ノ通リニシテ歷史上今ヲ距ル一世紀前ノ昔シニ於テハ佛國ノ威權甚ダ强大ニテ英國ハコレヲ恐ルヽ、餘リ頻リニ其强ヲ挫クコトヲ勉メタレドモ爾來露國ノ勢次第ニ盛ナルニ至リ土地ヲ拓キ侵略ヲ行ヒソノ敵トシ恐ルベキハ今ハ露國ヨリ甚シキモノナキノ有樣ナルガ故ニ英國ノ外政ハ目下露國ノ强ヲ抑ユルヲ主トナシ露國地中海ニ出テントスレバ英國コレヲ妨ゲ露國中央亞細亞ヲ奪ハントスレバ英國マタ之ヲ妨ゲ露國極東亞細亞ノ道ヲ開カントスレバ英國又々之ヲ妨ゲテ十九世紀ノ外交政略一ニ露國ヲ敵ニスルトノ評實際ニ於テ誠ニ相違ナキガ如シ尤モ歐洲ノ强國トシテ英ノ畏ル、所ノモノハ佛アリ獨アリソノ他墺伊ノ諸國亦輕ロシク侮ルベキニ非ズト雖ドモコレ等ハ英國ノ商賣ヲ妨害シ英國ノ土地ヲ侵掠シテ自家ノ利益ヲ謀ラントスル程ノ必要ニ迫リタルニモ非ズ唯尋常ノ親睦ヲ修メテ國交際ヲ全ウスルコト容易ナレドモ露ノ一國ハコレト趣ヲ異ニシ少シニテモソノ貿易ヲ擴ゲントスレバ英ノ利益ヲ害シソノ土地ヲ拓カントスレバ英ノ版圖ヲ侵スヲ免レザルノ位置ニ立ナ北方冱寒ノ地內ニ蹋蹐シテ永劫圖南ノ志念ヲ絕タシト覺悟スルニ非ザル限リハ英國ノ歡心ヲ得テ始終ノ平和ヲ保ツコト到底大難事ト云フベシ即チ露國ガソノ貿易ヲ擴張スルニ付テ是非トモ英ノ逆鱗ニ觸レザルヲ得ザル次第ト申スハ露國ハ只版圖ノ茫漠タル許リニシテ毫モ適當ノ出入口ナク北ニ白海ノ門戶ハアレドモ終年航海ノ出來得ル時日トテハ僅ニ數月間ニシテ剩サヘソノ位置北極ニ面スルモノナレバ恃ヅ出入ノ港口ト爲ス能ハズコノ外ニハ黑海ばるちっく海ノ兩口アルニ似タレドモコレモ世人ノ知ル通リ黑海ノ出口ハ英國ガ土國ニ應援シテ專ラソノ要害ヲ絕タシメばるちっく海ノ出口ニハさうんど海峽ノ險處アリテ英艦一タビコノ海面ヲ扼守セバ露船一隻モソノ艦ヲ西スルヲ得ザルナリ斯ル有樣ナレバ露國ハ最早歐洲ノ海岸ニ向テソノ港口ヲ開クベキ見込ミモアル可ラズ或ハ人ノ所說ニテハ露國ハ早晩土耳其ヲ征討シテぼすはるすざるゞねるすノ海峽ヲ押領スルカ然ラザレバ一朝事アルノ際ニハ必ズ先ヅコノ要害ヲ占領スルナランナド云フト雖ドモ今日ニテハ各國ノ間ニ既ニ寬屈ナル中立海ノ條約モアルガ上ニ英國ノ艦隊ガ存在スル限リハ縱ヘ自家ニテコレヲ占領スルトモ決シテ露國如キニ其手ヲ下スヲ許サヾルベキハ明白ナリ又露國政府ノ考ヘニテモ今日英國ヲ敵ニ引受ケテ彼ノ要害ヲ奪ハントスルハ何分其力ニ及ビ難シトテ地中海ニソノ港口ヲ求ムルノ無益ナルヲ知悉シ居ルナランサレバ露國ガ今後ニソノ海港ヲ開カント欲スルノ地ハ中央亞細亞カ極東亞細亞ノ二アルノミニテ地中海ノ海港彌々見込ミナシト諦メヲ附ケタル上ハ其政略ノ方向ヲ轉ジテコレヲ亞細亞ノ一邊ニ向ケ銳意經略シテ其目的ヲ仕遂ケントスルニ相違無カラン將タ英國ニ於テモ地中海ニテハ既ニ露ノ圖南ヲ制止シタリトハ云ヘ露ノ政略一轉シテ頻ニ亞細亞ニ向フノ今トナリテハ己レ自身モ亦亞細亞ニ廻ハリテ同シク其圖南ノ擧ヲ妨ケザルヲ得ザルガ故ニ十九世紀ノ外交政略ハ徹頭徹尾露國ニ反對シコノ三十年來モ兩國ノ間隱然トシテ常ニ軋轢ノ痕ヲ存シ本年ニ至リテ愈々事ノ表面上ニ現ハレタルハ中央亞細亞ニテ露國こまろふ將軍ノぺんじいヲ襲撃シタル極東亞細亞ニテ英國ぢうゐる提督ガ巨文島ヲ占領シタルコト等ニシテ未ダ破レニ至ラザルモ英國ガ露國ヲ敵トスル東方政略ノ結果ナリト云ハザルヲ得ズ然ルニコノ際英國ニ政變アリテ保守黨員內閣ノ權ヲ握キルコトナリタルハ倍々ソノ東方政略ニ活氣ヲ與フルノ由緣ニシテ亞細亞ノ一洲英露互ニ相爭フコノ激烈ナル場合トモナラバ其影響ノ及ブ所決シテ狹小ニ非ザルベキナリ

（未完）

雜報

○加俸　井上工部技監は一昨廿三日自今二級月俸下賜る旨仰渡されたり

○陸軍兒補　歩兵中佐大島貞恭氏其他諸氏ハ此程左の通仰付けられたり

參謀本部電信課長兼管東局員陸軍大學校教授　歩兵中佐　大島貞恭
免本職並兼職參謀本部管東局員陸軍大學校教授　歩兵少佐　高橋維則
兼補參謀本部電信課長
補中部監軍部副官　歩兵少佐　吉村守廉

○松江重罪裁判所長　判事久保潜藏氏は去る十日廣島控訴裁判所に於て第二期松江重罪裁判長を命せられる

○井野少佐死去　歩兵少佐井野好脩氏は去る十八日死去したり

○上京延引　香坂大坂府少書記官は知事代理として地方官諮問會に出席れ爲め本月廿五日頃より上京する都合なりしが數日以來淀川堤防の決潰其他管內水害の一件に付事務多端なるを以て右上京の期日を延引したるよし

○屯田兵着港　本月十一日函館へ入港せし品川丸は因幡國賀露港より新募の屯田兵（家族共）六百四十四人を載せ來たり右は岩田澤（札幌より炭山への道）へ移住するものにて戶數は百五戶の由に聞けりと函館よりの通信に見ゆ

○銅鑛試掘　高知縣下吾川郡安居村なる銅山は去る十年來採掘を中止なしたるが此程同山の內字樋谷に於て更に良鑛を發見せしよし付近々試掘に着手するよし

○畜馬場　宮城縣下鍛冶谷津なる畜馬場は是迄人民共同のものなりしが今度陸軍省にて買上げ種馬を放ち繁殖の上軍用に充つる筈なりと

○紡績會社　大坂府下西成郡三軒家なる紡績會社の增築はこの程既に上棟式を執行したる由なるが來八月中には悉皆落成すべしといふ

○近江半紙製造會社　今度滋賀縣下近江國栗太郡新濱村の畑某が發起にて若干の株金を募り同地に近江半紙製造會社といふを創設するといふ

○扇子の地紙　横濱辨天通り四丁目の買込商某ハ此程外國商館より日本扇子三十五萬本の注文を引受けたるがその價格は千本に付き七寸が六圓八寸が七圓九寸が八圓尺が九圓なりと然るに或る同業者これと聞込み五十錢安直にて引受けたしと言ひ入れしに外人その地紙は何ありやと問ふ故西洋紙ありと答へたるに西洋地紙の扇子に金にて繪と書たるもれと買込みその外見甚だ美なりしも少し使用すれば忽ち地紙が磨損するとて其掛口宜しからず又地紙ハ小なる日本紙があるも充分に見ると古新聞の廢紙を塗りたるもの故四五度も開け立てすると直に其黑文字が顯はるゝにて離れもことを聯ふ者無く何んでも日本質の地紙あらざれは値段は何程高くなるも引合はざるなり然るに日本の扇子製造者がこれ信用を落すも顧いらず古新聞紙抔にて一寸外形と美麗化し成丈廉價にして一時の得意を擧はんとするは大に他日の聲價を落す基いなりとて痛く彼同業者の申込みを謝絶したりと云ふ